

# 〈環人会〉その2. 環人会ツアーVol.14 寺内町は 街と人のミュージアム



寺内町 (じないまち) の、いらかが美しいチラシ

- ◆日時 / 10月23日(土) 11:20~17:30
- ◆場所 / 富田林寺内町
- ◆集合 / 大阪府近鉄富田林駅南口/市第三駐車場
- ◆参加費 / 1200円(実費) 昼食代+杉山家入場料込
- ◆案内人 / 富田林市役所市長公室 政策推進課 参事 北山 泰史、横関万貴子(近江環人)
- ◆報告 / 吉本 智

『なぜ、20年以上この寺内町にこだわって、町づくりをしているのですか?』

案内人の北山泰史さんに質問しました。

「私はこちらが日本で一番スゴイ町だと思っています。だからやり続けるのです」この言葉に私は、この人はタダものではないと感じました。

富田林のスーパー公務員こと、富田林市役所の北山泰史さんの案内で、大阪府で唯一の重要伝統的建物保存群地区に選定されている富田林寺内町を歩いてきました。

富田林と聞いて、思い浮かべるのは世界一といわれている花火大会や高校野球の常連校、PL学園がある町としてではないでしょうか?しかしこの地区にこんな素晴らしい景観や町並みが保全されているとは知りませんでした。

案内役の北山さんは約20年以上前から寺内町の町づくりに携わっています。公務員として寺内町に関わることになり、まず自分を知ってもらうこと、また自分もこの町を知るために、すべてのお宅(約500世帯)への個別訪問と道の清掃活動から始められました。今では、住民が住まいの力を預けるといっくら

い、寺内町の皆さんに信頼されている、まさにスーパー公務員。

まずは、公開されている民家のひとつ「勝間家」へ。ここは町のボランティアの皆さんが運営されています。茶室からは天気がいいと金剛山が見えるそうです。大阪府知事もここを訪れ、「飛騨高山よりいい資源がこの町にある」とコメントされたそうです。

続いて「じない市」活動の拠点、陶工房飛鳥さんへ。「じない市」は月に一度イベントを行い町の活性化を担っておられます。9月からは「じない散歩」として展開し町づくりの企画をされています。

続いて町の中心地である「興正寺別院」へ。寺内町は戦国時代にできた町で、道は「あてまげ」といって半間ずらし、見通せないようにしたり、土塁を設けるなどした宗教都市。お寺の内部には狩野派の襖絵などもあり、当時の繁栄を映し出していました。このお寺の前の道は「日本の道100選」に選ばれました。

昼食には、近江環人の仲間である横関邸へお邪魔しました。住居兼建築設計事務所として今年新築したばかりの



**第15回環人会現場研修会開催のお知らせ**  
彦根市内の石寺町や高宮町を巡回する予定です

- 日 時：2011年1月29日(土) 14:00~17:00
- 集合場所：滋賀県立大学駐車場
- 幹 事：富永千弘

今回の研修会では彦根市高宮町で学生が蔵を改修してカフェを運営している「おとくら」や古民家「不破邸」を訪問し、改修なった石寺町の工口民家を訪問。新年会をします。お楽しみに。



⑥国重要文化財、杉山家住宅内部 ⑦同、玄関くぐり戸 ⑧同、和室 ⑨駕籠庵 ⑩交流館前で参加者記念撮影

①勝間家南庭より石川と竹林を望む ②陶工房飛鳥 ③興正寺別院 ④日本の道100選「城の門筋」 ⑤興正寺別院襖絵 (狩野派絵師作画)

●よしもと(よと)1963年京都生まれ。  
環境共生住宅工房 (株)ベストハウス勤務。  
コミュニティー・アーキテクト(近江環  
人) ネットワーク、こなんの森 木の家ねつ  
と、こなんの森 新創しぐら、栗東市街道  
百年ファンクラブ参加。

●環境共生住宅工房 (株)ベストハウス  
<http://besthouse.co/>

みんなが幸せ  
昔本智

杉山家見学後、場所を交流館に移動して意見交換会へ。町づくりの経緯と保存整備の状況、今後の課題や展望など意見交換させていただきました。  
公務員として町づくりに携わった後、今は一市民としてこの寺内町を盛り上げようと活動している北山さん、そして所有している空家を活用しこの町の活性化を願う佐藤さん、建築家という立場で町のデザインを考えている横関正人さん夫妻など、宝のような人材がこの町をこれからもしっかりと素晴らしいものにしていくと感ずる一日でした。

この12月にも「農とクラフトフェア」を開催し町屋にふさわしい商いを目指す方との出会いの場を計画されています。  
そして重要文化財杉山家へ。1980年代に一般に売却されるころを、文化財保護の観点から市が買収し解体修理を行いました。そして現在はこの町のシンボリックな佇まいを見せています。

お住まいです。草屋根にピオトープ、それに新ストープが設置され、外観は高さや色合いを町並みにあわせ統一感に配慮された建築でした。  
お昼にいただいたのは「LLPまちかつ」を介してできたお店、「里庭」のこだわり弁当です。歴史的な景観と佇まいが魅力的なこの地域ですが、高齢化や中心市街地の求心力低下で、空家が増加しており喫緊の問題になっているそうです。そこで、その空家の活用希望者の相談・サポート窓口、所有者との橋渡しなどの役割を担う組織として「LLPまちかつ」は平成21年9月に設立されました。その最初のマッチングに成功した店舗がこの「里庭」さんとのこと(近江高島産の「ぎなこ」なども取り揃え)。